

平成 26 年度瀬戸内海国立公園子どもパークレンジャー事業（広島地区）

テー マ：ぼくのわたしの「宮島子ども自然遺産さがし」

～森へ！海へ！宮島の自然オモシロ大調査～

実施日時：平成 26 年 7 月 26 日（土）8:30 ～ 27 日（日）17:00

場 所：廿日市市宮島町大元海岸及び包ヶ浦周辺

講 師：呼坂 達夫 氏（広島県環境アドバイザー）

菊間 馨 氏（自然公園指導員）

参 加 者：20 名（募集定員 20 名）

天 候：快晴

内 容：1 日目は瀬戸内海の干潟に生息する生き物観察を行い、夜は夜光虫の観察、ウミホタルの捕獲・発行実験を行った。また、フン虫トラップを仕掛け、2 日目にフン虫の観察を行い、宮島の生態系について学んだ。最後に 2 日間の体験を通して、自分なりの「宮島子ども自然遺産」を選定し絵はがきを作成した。

【実施風景】



【1 日目】JPR 任命式 8:30～

宮島口に集合し、開会式・任命式を行いました。

レンジャー（自然保護官）より任命書を手渡しました。2 日間、子どもパークレンジャーとして頑張ってくださいね！



オリエンテーション 10:00～

宮島の大元公園までパトロールをしながら徒歩移動。

まずは 2 日間の目的や任務を確認し、グループ作りを行いました。



国立公園とレンジャーについて

レンジャーってどんなお仕事？国立公園が何だろう？レンジャーより解説しました。



干潟のいきもの観察 13:00～

いよいよ午後から任務遂行！干潟のいきもの調査です。



アラムシロの捕食実験

小イワシを置いてみると、みるみるうちにアラムシロ貝が！1時間もすると骨のみになってしまいました。死がいだらけにならないのは海の掃除屋さんのおかげです。



チゴガニのウェービング

座ってじーっと眺めていると「あ！いた！」「どこどこ？」っと声があがりました。しばらくすると、1cmほどのチゴガニが求愛ダンスを見せてくれました。



マテガイ採り

一番はまったのはマテガイ採りでした。穴に塩を入れると、高い塩分濃度にびっくりしたマテガイが顔を出します。そこを尽かさずキャッチ！



フン虫トラップ作り 17:00～

2つめの任務はフン虫の生態調査です。まずはフン虫を捕まえるためのトラップ作り。雨が降ってもおぼれないように缶の底に穴を開けます。



フン虫のエサはフンです。

今回は安佐動物園さんのご協力を得て、ライオン・クマ・スイギュウ・イノシシ・シカのフンをトラップに仕掛けました。みんな嫌々ながらもフンをトラップに投入。臭いも嗅いで多く捕獲できるフンも予測しました。

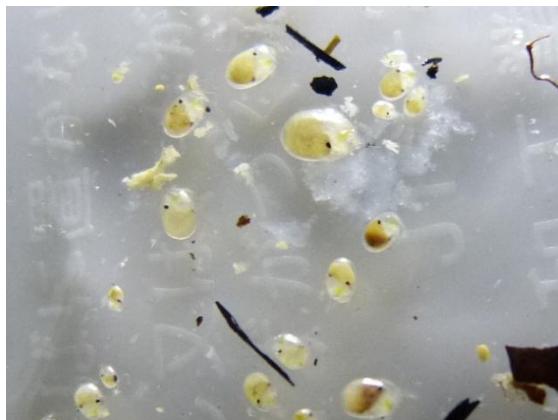


歩いてきたフン虫も入れるように土の高さにあわせてトラップを設置。フン虫は夕方から夜にかけて活動するので、回収は翌日行いました。



ウミホタルの観察 19:30~

3つめの任務は夜の海に光る生きものの調査です。鯛のアラが入ったトラップを海に投入！かかったウミホタルを顕微鏡で観察しました。



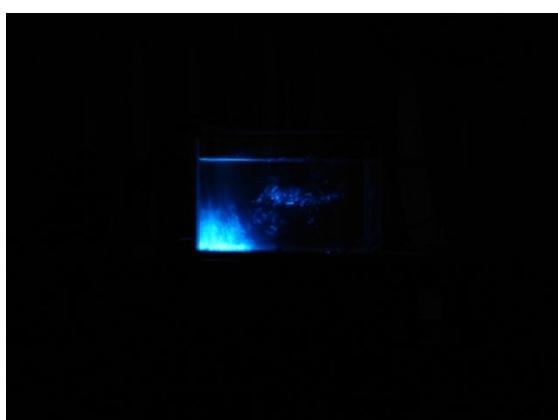
ウミホタル

約2~3mmで肉眼でも見ることができます。ウミホタルの他に夜光虫の観察も行いました。海水を刺激すると青白く光ります。



乾燥ウミホタル

講師の呼坂さん考案の乾燥ウミホタル。乾燥しても発光物質ルシフェリンが体内に残っており、体内から放出される様子を観察できます。



ウミホタルの発光実験

一瞬ですが、電流で刺激を与えると驚いたウミホタルが一斉に発光物質を放出！青白い光がとても幻想的でした。



【2日目】 フン虫調査 9:00~

前日に仕掛けたフン虫トラップの結果を予測！「いつも食べてるシカのフンよりたまには他のフンが食べたいんじゃないか？」「スイギュウのフンが柔らかくて食べやすそうだった」などの意見が出ました。



ライオンのフン虫トラップ

中を覗くと、もごもごとフン虫が動いています。



フン虫を取り出す！

どうやってフン虫を取り出すかというと、茶こしにフンを入れて洗い流すというもの。みんな興味津々でした。



フン虫たち

たくさんのフン虫が捕まりました。一番大きなフン虫はオオセンチコガネ。きれいな虹色でとてもフンを食べてるとは思えません！



同定作業

捕まえたフン虫の数と種類を調べました。

	1日目	2日目	合計
シカ	—	—	0
スイギュウ	13	7	20
イイシニ	37	4	41
クマ	55	30	85
ライオン	66	31	97

フン虫の結果は…

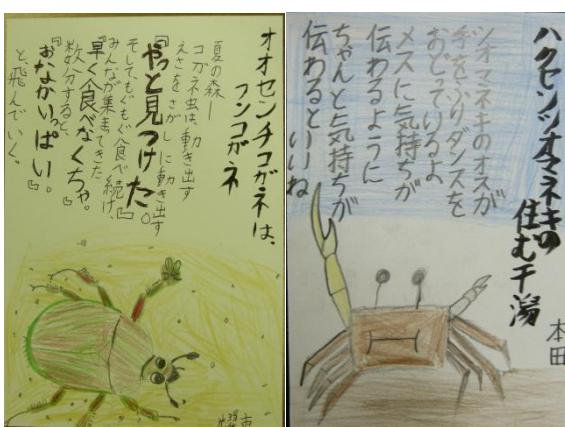
結果はライオン・クマ・イノシシ・スイギュウ・シカの順。臭いが強い肉食→雑食→草食の順に人気があつたようです。

彼らがフンを食べてくれるから地球はフンだらけにならないんですね！



宮島子ども自然遺産の認定

2日間の体験を通して、自分が残していきたい「宮島子ども自然遺産」を選定し、レンジャーに認定してもらいました。



宮島子ども自然遺産の絵はがき

宮島子ども自然遺産を家族や友達にも伝えられるよう絵はがきを作成しました。

「ウミホタル」や「ハクセンシオマネキの住む干潟」、「フン虫」などを自然遺産に選定してくれました。



帰路

暑い中、包ヶ浦から宮島港まで歩き、フェリーに乗って宮島を後にしました。

2日間の体験を経て、今までと違う宮島のイメージになったのではないでしょうか。



閉会式

宮島口で閉会式。

持ち帰ったフン虫に親御さんも興味津々でした。

暑い中、JPRとしての任務お疲れ様でした！